

地域活性化委員会 年間事業計画

| | | |
|------|----------|---------|
| 室 | まちづくり室 | |
| 委員会 | 地域活性化委員会 | |
| 委員長 | 伊藤 聡 | |
| 副委員長 | 井尾 泰隆 | ・ 馬淵 剛 |
| 委員 | 太田 佳祐 | ・ 所 基晋 |
| | 中村 紘平 | ・ 新川 聖平 |
| | 野村 昌史 | |

| |
|---|
| 基本方針 |
| 少子化や人口流出といった人口減少問題を解消し、西美濃地域が人で賑わう魅力あるまちとして活性化していくことを目指す。 |

委員長方針

ここ西美濃地域においても例外なく少子化が進み、また、大都市部への人口流出による人口減少も進んでいます。こうした人口減少の問題は、老年人口の増加による社会保障費の増大、それに伴う生産年齢人口への負担増、地場産業の衰退、税収の減少による地方財政の悪化など、様々な問題を発生させます。西美濃地域が人で賑わう魅力あるまちとして活性化していくためには、こうした人口減少の問題を解消する必要があります。そこで、人口減少の問題の解消に繋がり、西美濃地域が人で賑わう魅力あるまちとして活性化していく事業を展開します。

<事業計画及び予算>

- 事業名 6月度例会の企画・運営

目的 地域住民に対して多子社会の魅力を伝えることで、多子社会の構築へ向かう意識を高める。

予定と方法 (1) 6月
(2) 種別:公益事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 事業費 | 1,100,000 | 一般会計 | 1,100,000 |
| 合計 | 1,100,000 | 合計 | 1,100,000 |
- 事業名 11月度例会の企画・運営

目的 地域住民に対して西美濃地域の魅力を伝えることで、この地域に人が根付き、地域が活性化することに繋げる。

予定と方法 (1) 11月
(2) 種別:公益事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 800,000 | 一般会計 | 800,000 |
| 合計 | 800,000 | 合計 | 800,000 |
- 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他
- 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

青少年育成委員会 年間事業計画

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---------|--|-----|----------|--|-----|-------|--|------|------|---------|----|-------|--------|--|--------|---------|--|-------|--|--|------|---|
| <table border="1"> <tr> <td>室</td> <td colspan="2">まちづくり室</td> </tr> <tr> <td>委員会</td> <td colspan="2">青少年育成委員会</td> </tr> <tr> <td>委員長</td> <td colspan="2">栗田 裕介</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>北村 光</td> <td>・ 高山 悠一</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>伊藤 友輔</td> <td>・ 大杉 徹</td> </tr> <tr> <td></td> <td>川瀬 英三朗</td> <td>・ 杉江 拓弥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柳瀬 芳仁</td> <td></td> </tr> </table> | 室 | まちづくり室 | | 委員会 | 青少年育成委員会 | | 委員長 | 栗田 裕介 | | 副委員長 | 北村 光 | ・ 高山 悠一 | 委員 | 伊藤 友輔 | ・ 大杉 徹 | | 川瀬 英三朗 | ・ 杉江 拓弥 | | 柳瀬 芳仁 | | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基本方針</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> 西美濃地域に住まう子どもたちに主体性を持って行動し、互いに助け合う機会を提供することで、自己肯定感の向上と他者を思いやる力を育む。 </td> </tr> </table> | 基本方針 | 西美濃地域に住まう子どもたちに主体性を持って行動し、互いに助け合う機会を提供することで、自己肯定感の向上と他者を思いやる力を育む。 |
| 室 | まちづくり室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員会 | 青少年育成委員会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員長 | 栗田 裕介 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 副委員長 | 北村 光 | ・ 高山 悠一 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員 | 伊藤 友輔 | ・ 大杉 徹 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 川瀬 英三朗 | ・ 杉江 拓弥 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 柳瀬 芳仁 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基本方針 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 西美濃地域に住まう子どもたちに主体性を持って行動し、互いに助け合う機会を提供することで、自己肯定感の向上と他者を思いやる力を育む。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

委員長方針

時代や環境が変化しても、他者を思う心や挑戦を続ける心を持ち続けることは不変であると考えます。現代の学校教育は単に知識教育の場を提供するのみでなく、子どもの心の発達そのものに深く関わっており、豊かな人間性を育む環境としての重要な役割を担っています。

今後、人工知能やロボットの普及など急速な高度情報通信社会による技術革新が進む中でも地域に愛着を持ち、また自己を見つめ、他者を思いやる気持ちを兼ね備えた人財が求められます。これからの予測困難な時代の移り変わりの中、家庭やPTAだけでなく、我々のような地域に根付いた青年団体が豊かな人間性教育の一端を担うことが必要不可欠です。学校教育だけでは成し得ない、青年会議所だからこそできる時代や環境に合った運動を展開することが重要です。子どもたちの純真な好奇心を刺激し、積極性を育む場を提供することで、次代を担う子どもたちの心を豊かにし、自らが未来を創造する力を育みます。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 5月度例会の企画・運営

目的 高度情報通信社会を体感し、次代を担う子どもたちの求知心を高めると共に、自らの未来を切り拓く契機とする。

予定と方法 (1) 5月
(2) 種別:公益事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 600,000 | 一般会計 | 600,000 |
| 合計 | 600,000 | 合計 | 600,000 |

2. 事業名 7月度例会の企画・運営

目的 互いに助け合う機会を通して、自らの未来を創造できる人財を育む。

予定と方法 (1) 7月
(2) 種別:公益事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|-----------|--------|-----------|
| 事業費 | 1,000,000 | 一般会計 | 1,000,000 |
| 合計 | 1,000,000 | 合計 | 1,000,000 |

3. 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他

4. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

西美濃情報発信委員会 年間事業計画

| | | | | | |
|----------|----------------------|--------------------|--|--|---|
| 室 委員会 | まちづくり室 西美濃情報発信委員会 | | | | 基本方針 |
| 委員長 | 星野 恵里 | | | | 地域住民の意識改革を促すために、官民が一体となって西美濃連携を更に推進し光り輝く西美濃の魅力を磨き上げる。 |
| 副委員長 | 嶋 崇志 | ・ 長澤 愛樹 | | | |
| 委員 | 卯田 貴大 日比野 豪 | ・ 高橋 礼光 ・ 平野 敬司 | | | |

委員長方針

大垣青年会議所は、2014年に西美濃全体のコミュニティネットワークをつくることを目指し、ツール・ド・西美濃を企画立案しました。本年度7回目を迎えるツール・ド・西美濃では、西美濃2市9町の連携を新たなステージにも対応できるものとし、行政と地域住民が郷土愛を持って事業を構築し、地域住民主体のまちづくりを目指します。

そして、我々大垣青年会議所が地域住民のリーダーとして西美濃地域の架け橋となり、より多くの西美濃ファンを生み出し、地域住民と共に地域の魅力を磨き上げることに貢献します。

<事業計画及び予算>

- 事業名 9月度例会の企画・運営

目的 本質を理解して事業に参加・協力することにより、西美濃地域の更なる連携の一助となる。

予定と方法 (1) 9月
(2) ツール・ド・西美濃2020事前説明会
(3) ツール・ド・西美濃2020への参加・協力
(4) 種別・その他の事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | | 一般会計 | |
| 合計 | 10,000 | 合計 | 10,000 |
- 事業名 西美濃の多彩な情報発信による地域活性化に向けた事業

目的 ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会に参画し、官民が一体となって西美濃の魅力を発信することで西美濃地域の活性化に繋げる。

予定と方法 (1) ツール・ド・西美濃実行委員会との連携
(2) ツール・ド・西美濃実行委員会及び本部会への参画
(3) ツール・ド・西美濃2020開催準備への参加・協力
(4) 種別・その他の事業
- 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他
- 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

会員資質向上委員会 年間事業計画

| | | |
|------|-----------|---|
| 室 | ひとつくり室 | 基本方針 |
| 委員会 | 会員資質向上委員会 | |
| 委員長 | 伊藤 裕一朗 | 企業や地域に必要なリーダーとなれるよう、会員一人ひとりが修練を積み、能動的に活動できる人財を創出する。 |
| 副委員長 | 春山 大樹 | |
| 委員 | 柘植 千咲 | |
| 委員 | 水谷 孔輔 | |
| | | ・ 柳瀬 幸広 |
| | | ・ 中村 佳守雄 |

委員長方針

近年の大垣青年会議所は、会員の在籍年数の短期間化によってさまざまな役職を経験することなく卒業していく会員が多く、また会員の約半数が入会3年未満で占められている現状があります。青年会議所が最後の学び舎と言われるように、青年会議所の魅力の一つは修練を積み、企業や地域に必要なリーダーとなることであると考えます。そのためには、青年会議所が単なる居心地の良い楽しい会ではなく、成長できる会でなければなりません。

歴史ある大垣青年会議所の創始の精神と伝統を再認識すると共に、明るい豊かな社会の実現のため未来へ向かって時代に沿った活動を通して、会員一人ひとりが自らの意志で成長を求め修練を積み、能動的に活動できる人財を創出していきます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 2月度例会の企画・運営

目的 受け継ぐべき伝統を学ぶと共に、先駆けいく組織の一員として能動的な人財となる契機とする。

予定と方法 (1) 2月
(2) 種別・その他の事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | 75,000 | 一般会計 | 75,000 |
| 合計 | 75,000 | 合計 | 75,000 |
- 事業名 4月度例会の企画・運営

目的 時代に沿った考え方を通して、能動的に活動に参画することのできる人財を創出する。

予定と方法 (1) 4月
(2) 種別・その他の事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 300,000 | 一般会計 | 300,000 |
| 合計 | 300,000 | 合計 | 300,000 |
- 事業名 新入会員の指導

目的 三信条を理解し、JAYCEEとして自覚と責任を持った会員を育成する。

予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 新年互礼会アトラクションのフォロー及び指導
(3) 新入会員研修の実施(4回)
(4) 理事会へのオブザーブ出席
(5) 3分間スピーチの実施
(6) 岐阜ブロックアカデミー2020への参加
(7) 種別・その他の事業

予算

| <支出の部> | | <収入の部> | |
|--------|--------|--------|--------|
| 事業費 | 85,000 | 一般会計 | 85,000 |
| 合計 | 85,000 | 合計 | 85,000 |
- 事業名 新入会員による交流会の企画・運営に対する指導

目的 青年会議所活動で得た学びと経験を活かし、新入会員が一丸となって交流会を企画・運営することで、今後の大垣青年会議所を担う人財となるよう指導する。

予定と方法 (1) 6月～12月
(2) 議案作成及び議案上程セミナーの実施
(3) 模擬正副理事長会議、模擬常任理事会、模擬理事会の実施
(4) 事業実施準備及び事業報告の指導
(5) 種別・その他の事業

5. 事業名 SDGsの推進

予定と方法 (1) その他

6. 事業名 各委員会との連携

予定と方法 (1) その他

拡大ネットワーク委員会 年間事業計画

| | | |
|---|--------------------|---|
| 室名 ひとつくり室 委員会 拡大ネットワーク委員会 委員長 遠藤 功博 副委員長 門田 寛之 委員 飼沼 優作 | ・ 高橋 正泰 ・ 西本 匡良 | 基本方針 大垣青年会議所の理念に共感し、気概を持った多くの同志を全会員で拡大し、西美濃地域関係各諸団体と共に活気ある西美濃地域の発展に寄与する。 |
|---|--------------------|---|

委員長方針

大垣青年会議所は2020年度から3年間で約半数の会員が卒業を迎え、会員の減少が危惧されます。私たちがこれからも「明るい豊かな社会」の実現に向けて継続的かつ積極的に運動を展開していくためには、大垣青年会議所の理念に共感し、1人でも多くの仲間と出会い、全会員で拡大運動に取り組むと共に、さらに魅力ある団体となる必要があります。そこで、これまで以上に20代や女性といったターゲットにも目を向け、積極的に拡大運動に取り組めます。また西美濃地域関係各諸団体と事業に取り組み、このまちの魅力を共に発信していくことで活気ある西美濃地域の発展に繋げていきます。

<事業計画及び予算>

- 事業名 8月度例会の企画・運営

目的 西美濃地域関係各諸団体と共に参加・協力することで、地域住民に地域の魅力を伝える。

予定と方法 (1) 8月
(2) 第36回水門川万灯流しへの参加・協力
- 事業名 10月度例会の企画・運営

目的 西美濃地域関係各諸団体と共に参加・協力することで、活気ある西美濃地域の発展に寄与する。

予定と方法 (1) 10月
(2) 第47回十万石ふるさとまつりへの参加・協力
- 事業名 正会員及び賛助会員の募集

目的 大垣青年会議所の理念に共感し、共に運動を発信できる人財を発掘する。

予定と方法 (1) 正会員の募集(1月～7月)
(2) 賛助会員の募集(1月～12月)
(3) 正会員及び賛助会員の募集の窓口
(4) 拡大セミナーの実施(1月)
(5) 異業種交流会の開催(5月、6月)
(6) 候補者の事業オプザープ参加(3月～7月)
(7) ホームページへの会員の募集の掲載
(8) 正会員及び賛助会員の候補者の情報収集と集約(1月～12月)
(9) 種別・その他の事業

| | | | | |
|-----|--------|---------|--------|---------|
| 予 算 | <支出の部> | | <収入の部> | |
| | 事業費 | 150,000 | 一般会計 | 150,000 |
| | 合計 | 150,000 | 合計 | 150,000 |

4. 事業名 新入会員予定者及び賛助会員予定者の指導及び資格審査
- 目的 参加対象事業を通して大垣青年会議所の理念や目的を伝え、積極的に活動できる人財であるかを審査する。
- 予定と方法 (1) 7月～12月
(2) 新入会員予定者の資格審査(7月)
(3) 新入会員予定者オリエンテーションの開催(7月)
(4) 新入会員予定者の参加対象事業への参加推進及び指導(8月～12月)
(5) 賛助会員予定者の指導(随時)
(6) 新入会員予定者及び賛助会員予定者の最終適正審査(12月)
(7) 新年互礼会に向けた指導
(8) 種別・その他の事業

| 予 算 | <支出の部> | | <収入の部> | |
|-----|--------|--------|--------|--------|
| | 事業費 | 20,000 | 一般会計 | 20,000 |
| | 合計 | 20,000 | 合計 | 20,000 |

5. 事業名 西美濃地域関係各諸団体との窓口及び協力
- 目的 西美濃地域関係各諸団体の事業の窓口となり、会員に参加を促し積極的に協力する。
- 予定と方法 (1) 西美濃地域関係各諸団体の各種事業の発信及び参加依頼
(2) 西美濃地域関係各諸団体との協働
(3) 西美濃地域関係各諸団体への出向者の支援
(4) 西美濃地域関係各諸団体に対する大垣青年会議所事業への参加依頼
6. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
7. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

渉外委員会 年間事業計画

| | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|--------------|-----|------|------|-------|----|----------------|---|------|--|
| <table border="1"> <tr> <td style="width: 50%;">室 委員会</td> <td>総務室 渉外委員会</td> </tr> <tr> <td>委員長</td> <td>清水 崇</td> </tr> <tr> <td>副委員長</td> <td>林田 丈祐</td> </tr> <tr> <td>委員</td> <td>釣谷 恭介 水森 等紀</td> </tr> </table> | 室 委員会 | 総務室 渉外委員会 | 委員長 | 清水 崇 | 副委員長 | 林田 丈祐 | 委員 | 釣谷 恭介 水森 等紀 | <table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">基本方針</td> </tr> <tr> <td>JC運動を通じて、西美濃の魅力を感じることができる情報として発信すると共に、対外窓口として、円滑な運営及び設営と出向者への支援を行い、成長の機会を創出する。</td> </tr> </table> | 基本方針 | JC運動を通じて、西美濃の魅力を感じることができる情報として発信すると共に、対外窓口として、円滑な運営及び設営と出向者への支援を行い、成長の機会を創出する。 |
| 室 委員会 | 総務室 渉外委員会 | | | | | | | | | | |
| 委員長 | 清水 崇 | | | | | | | | | | |
| 副委員長 | 林田 丈祐 | | | | | | | | | | |
| 委員 | 釣谷 恭介 水森 等紀 | | | | | | | | | | |
| 基本方針 | | | | | | | | | | | |
| JC運動を通じて、西美濃の魅力を感じることができる情報として発信すると共に、対外窓口として、円滑な運営及び設営と出向者への支援を行い、成長の機会を創出する。 | | | | | | | | | | | |

委員長方針

大垣青年会議所の運動や西美濃の魅力を感じることができる情報の発信には更に力を入れていかなければいけません。ホームページやSNSなど各媒体を通じて閲覧して頂ける方の共感を呼ぶことで、コミュニケーションの輪が広がり、それがJC運動へとつながり、「西美濃の永続的な発展」を実現するための礎になると確信しています。

さらに、対外窓口として出向者の行うJC運動を会員に伝えることや、花蓮JCとの国際交流やJC青年の船「とうかい号」を始めとする多くの事業を通じて、会員の共感力を磨き、コミュニケーションの輪を広げ、西美濃の魅力を感じることができる人財の成長へ寄与します。

今年度渉外委員会では、より分かりやすく見る人の視点に沿った情報を発信することで、西美濃地域の魅力を伝えると共に、各事業を通じ共感力を磨き、会員一人ひとりの成長へと繋げ、大垣青年会議所の更なる発展に寄与します。

<事業計画及び予算>

1. 事業名 3月度例会の企画・運営

目的 日本青年会議所の運動の魅力を理解し、今後のJC活動及びJC運動において活用し、会員の成長へ繋げる。

予定と方法 (1) 3月
(2) 種別・その他の事業

| 予 算 | <支出の部> | | <収入の部> | |
|-----|--------|---------|--------|---------|
| | 事業費 | 100,000 | 一般会計 | 100,000 |
| | 合計 | 100,000 | 合計 | 100,000 |

2. 事業名 9月度中間例会の企画・運営

目的 第61回岐阜ブロック大会2020へ参加される方を精一杯のおもてなしの心でお迎えし、岐阜の魅力の発見や新たな気づきを得る機会とし、これからの大垣青年会議所の運動への糧とする。

予定と方法 (1) 9月
(2) 第61回岐阜ブロック大会2020への参加・協力

3. 事業名 西美濃の未来を担う青年の海外派遣

目的 第47回JC青年の船「とうかい号」事業を通して、個の成長を促し、西美濃の未来を背負う人財の育成に寄与する。

予定と方法 (1) 1月～6月
(2) 第47回JC青年の船「とうかい号」事業の窓口
(3) 乗船者の募集
(4) 乗船者の適性審査
(5) LOMオリエンテーションの開催
(6) 岐阜ブロックオリエンテーションへの参加
(7) LOM壮行会の開催
(8) 結団式への参加
(9) 第47回JC青年の船「とうかい号」への派遣
(10) 出航式、帰港式の参加及び案内
(11) LOM帰国報告会の開催
(12) 種別・その他の事業

| 予 算 | <支出の部> | | <収入の部> | |
|-----|--------|---------|--------|---------|
| | 事業費 | 300,000 | 一般会計 | 300,000 |
| | 合計 | 300,000 | 合計 | 300,000 |

4. 事業名 広報管理に関する事業
- 目的 大垣青年会議所の運動を広く発信することで、会の魅力を伝え地域の方に共感を得ると共に、会員の事業に対する意識や理解を高める。
- 予定と方法 (1) ホームページの管理と運営
(2) Web媒体、SNSを利用した情報の発信
(3) 機関紙の発行
(4) 種別・その他の事業
- 予算
- | | <支出の部> | | <収入の部> | |
|--|--------|---------|--------|---------|
| | 事業費 | 450,000 | 一般会計 | 450,000 |
| | 合計 | 450,000 | 合計 | 450,000 |
5. 事業名 JCI、日本JC及び対外事業の窓口及び参加推進
- 目的 対外事業の窓口として各事業の内容、目的を会員に伝え、参加目的意識の向上をはかることで、事業への参加を推進し、会員一人ひとりの成長へと繋げる。
- 予定と方法 (1) 日本JC 京都会議(1月) 京都
(2) 岐阜BC 岐阜会議(2月) 岐阜
(3) 日本JC 金沢会議(2月) 金沢
(4) JCI ASPAC(6月) カンボジア
(5) 日本JC サマーコンファレンス(7月) 横浜
(6) 東海DC 東海フォーラム(7月)
(7) 岐阜BC 岐阜ブロック大会(9月) 大垣
(8) 日本JC 全国大会(9月) 札幌
(9) JCI JCI世界会議(11月) 横浜
(10) 岐阜BC 第58回岐阜ブロック野球大会
(11) 岐阜BC 第54回岐阜ブロックじゃがいも大会
(12) 岐阜BC 第24回岐阜ブロックサッカー大会
(13) その他
6. 事業名 花蓮JCとの交流に関する事業
- 目的 花蓮JCと国際交流を通して相互理解を深め、より良い友好関係を築くことで世界平和へ寄与すると共に、会員の見聞を広めることで、個の成長を通して西美濃地域の永続的な発展に寄与する。
- 予定と方法 (1) 花蓮JCとの交流の窓口
(2) 報告書の作成
7. 事業名 他LOMとの交流
- 目的 他LOMとの交流を通して、より良い友好関係を築くと共に、相互理解を深め、新たな気づきを得る機会になる場とする。
- 予定と方法 (1) 鹿児島JCとの防災協定締結(1月)京都
(2) 各務原JCとの交流事業
8. 事業名 趣味の会の窓口
- 目的 趣味の会への入会を促進し、趣味を通じて会員同士の友情を深める。
- 予定と方法 (1) 趣味の会の募集・登録窓口
9. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
10. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他

総務委員会 年間事業計画(案)

| | |
|------|-------|
| 担当名 | 総務室 |
| 委員会 | 総務委員会 |
| 委員長 | 長野 匠吾 |
| 副委員長 | 恒本 浩志 |
| 委員 | 市川 佳典 |
| | 川瀬 記一 |

| |
|---|
| 基本方針(案) |
| <p>会員一人ひとりが大垣青年会議所の理念と意義を理解し、JAYCEEとして自覚と責任を持つことで、活力ある組織として活動ができるよう、的確かつ円滑な組織運営を行う。</p> |

委員長方針(案)

大垣青年会議所が「明るい豊かな社会の実現」を目指して歩み続けられたのは、設立以来、多くの先達の伝統と精神が脈々と受け継がれているからです。しかし、69年目を迎える今、会員減少により、組織運営の厳しさが増しており、今後も成長し続ける組織であるために常に環境や状態に適応して新しい発想を持って時代を切り拓き、変化していかなければなりません。

現状を改善し、西美濃地域の発展のため、国際平和のため、絶えず青年会議所活動や運動をしていくためには、会員一人ひとりが大垣青年会議所の理念と意義を理解し、JAYCEEとして自覚と責任を持つことが必要です。互いに切磋琢磨しながら信頼関係を築き、会員の力を結集することで、活力ある組織として活動ができるよう、的確かつ円滑な組織運営を行っていきます。

<事業計画及び予算(案)>

1. 事業名 1月度例会の企画・運営

目的 2020年度の決意と方向性を力強く発信し、大垣青年会議所の理念と意義を再確認することで、活動の意欲を高揚させる場とする。

予定と方法 (1) 1月
(2) 新年互礼会
(3) 種別・その他の事業

| | | |
|-----|-------------|--------------|
| | <支出の部> | <収入の部> |
| 予 算 | 事業費 228,000 | 一般会計 228,000 |
| | 合計 228,000 | 合計 228,000 |

2. 事業名 12月度例会の企画・運営

目的 卒業生への感謝と功績を讃え祝福すると共に、卒業生の想いを受け継ぐことで、青年会議所の伝統と精神を次代へと繋げる場とする。

予定と方法 (1) 12月
(2) 卒業生を送る会
(3) 種別・その他の事業

| | | |
|-----|------------|-------------|
| | <支出の部> | <収入の部> |
| 予 算 | 事業費 90,000 | 一般会計 90,000 |
| | 合計 90,000 | 合計 90,000 |

3. 事業名 通常総会及び臨時総会の設営・運営

目的 的確かつ円滑な総会の運営を行う。

予定と方法 (1) 通常総会(1月)及び臨時総会の設営・運営
(2) 議事録の作成

4. 事業名 理事会運営に関する事業

目的 各委員会との連絡を密に行い、的確かつ円滑な理事会の運営を行うことで、会員の成長の一助とする。

予定と方法 (1) 理事会の準備及び設営
(2) 議事録の作成
(3) 理事会資料の配信及び厳格な資料の確認
(4) マニュアルに基づく議案上程の周知

5. 事業名 基本資料・定款及び会員名簿の作成と管理に関する事業
- 目的 2020年度の大垣青年会議所の情報を資料としての確にまとめることで、円滑な活動の一助とする。
- 予定と方法 (1) 基本資料の作成・会員名簿の作成
(2) 定款及び運営規則の管理
(3) 種別・その他の事業
- 予算
- | ＜支出の部＞ | | ＜収入の部＞ | |
|--------|---------|--------|---------|
| 事業費 | 480,000 | 一般会計 | 480,000 |
| 合計 | 480,000 | 合計 | 480,000 |
6. 事業名 大垣青年会議所の運営全般に関する事業
- 目的 会員が社会貢献を尽くし、活力ある活動に繋げられるよう的確かつ円滑な組織運営を行う。
- 予定と方法 (1) 例会及び事業等の配布物準備
(2) 各事業及び各委員会の出欠席の管理
(3) 事務局の管理・運営
(4) 弔事に関する運営
(5) 定款・運営規則等の規程の精査・改正
(6) メーリングリストの構築・管理
(7) 情報公開に関する管理
(8) その他
7. 事業名 情報管理のための事業
- 目的 活動記録を管理することで、大垣青年会議所の歩みを次代へ繋げる。
- 予定と方法 (1) 各事業記録の整理・保管
(2) 各事業写真の保管
(3) 議案書の保管
(4) 事業活動アルバム(DVD)の作成及び関連記事の整理
(5) 種別・その他の事業
8. 事業名 公益法人格制度に関する運営・手続
- 目的 公益法人格の意義を深く理解し、的確な運営を行う。
- 予定と方法 (1) 公益法人格取得団体としての運営・手続
9. 事業名 財務管理に関する事業
- 目的 厳正な財務管理、資産管理のもと、各委員会と連携し的確な組織運営を行う。
- 予定と方法 (1) 一般会計、基金会計、特別会計の管理
(2) 基金運用計画に基づく資金管理
(3) 予算立案に伴う業務
(4) 予算、決算及び各事業の変更に伴う業務
(5) 中間決算及び年度末決算
(6) 預り金の管理
10. 事業名 SDGsの推進
- 予定と方法 (1) その他
11. 事業名 各委員会との連携
- 予定と方法 (1) その他